

2019年2月11日

あおぞら投信株式会社

## 「低成長 双子の赤字に 政治危機 インフレ抑えて 五重苦乗り越え」

ブラジルの株式相場はボベスパ指数\*が2016年の38,031.22ポイントから今年(2019年)2月1日には97,861.27ポイントと史上最高値を更新しています。昨年(2018年)の株式相場は、5月のトラック運転手による道路封鎖ストライキや10月の大統領選をめぐる政治的な不透明感を主な要因として、年央に大きく下落しましたが、前年末比では2016年の38.93%、2017年の26.86%に続き、大統領選でのボルソナロ氏の当選や新政権への期待などから2018年も15.03%上昇して一年の取引を終えました。2014年の自国でのサッカーワールドカップ開催から経済的には不況に陥り、政治的には当時のジルマ・ルセフ大統領が罷免されるといった混乱がありました。今後のブラジル市場はどのような展開となるのでしょうか。

今年1月1日に就任したボルソナロ大統領は経済の構造改革に前向きな姿勢を示しています。特に年金改革法案では支給年齢引上げに向けて協力政党の支持が必要となります。さらに、国営企業の民営化、法人税引き下げといった経済政策を計画しており、これらが経済効果を生むという期待から、ようやくブラジル・リアルも反発をしています。今回の年金改革法案は前政権と比べて大幅な歳出削減効果があり、今後長期に渡って財政問題を解決できるという期待があります。また50社の国営企業民営化や、現行実質34%である法人税を15%に引き下げる方針などが実行されてくることにより、経済の活性化への期待が生まれています。これまで期待先行だったブラジルが、今回の政権交代により構造改革を進められるかどうかは、これまで汚職から抜け出せなかった政治家の排除、乱立する小党の支持を得ること、軍関係者の処遇といった複雑な構造の中、経済の成長を進めることに懸かっていると考えます。

柳谷俊郎

ブラジルの株式指数（ボベスパ指数\*）と経済成長率の推移  
（1992年12月末～2019年1月末）



主な出来事	ボベスパ指数	経済成長率
カルドソ政権発足	1995/12	1995/12
第二期カルドソ政権発足	1998/12	1998/12
ルーラ大統領の労働者党政権発足	2003/12	2003/12
第二期ルーラ政権発足	2007/12	2007/12
ルセフ政権発足	2011/12	2011/12
サッカーワールドカップをブラジルで開催	2014/12	2014/12
ルセフ大統領罷免	2016/12	2016/12
ボルソナロ政権発足	2019/1	2019/1

\*ボベスパ指数 : サンパウロ証券取引所上場の最も流動性の高い銘柄で構成される、浮動株基準加重平均トータルリターン指数(グロス)。  
出所 : サンパウロ証券取引所および各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>